



2月15日 涅槃会（ねはんえ）

お釈迦様 入滅の日

境内の侘助も終りを告げ、
気の早い沈丁花のつぼみが目立ってきました。
冷たい風の中、そろそろ土の中では貝母や待雪草などの
球根が動き始めます。

さて、梅の便りも楽しみな今月は、
お釈迦様の亡くなられた日 涅槃会を迎えます。
毎年涅槃会には本堂に涅槃図を掛けます。



この涅槃図を見ると「頭北面西右脇臥（ずほくめんさいうきょうが）」
頭を北へ、顔を西へ向け、右脇を下にして臥しているお釈迦様の姿が
大きく描かれています。

これが北枕の起源ですが、一説には
お釈迦様は北の方に当たる生まれ故郷カピラ城の両親に対し
足を向けて寝られないため、と言われてしています。

涅槃に入られたお釈迦様のまわりでは、
菩薩様方や比丘、比丘尼、天界の神々、鬼など
一般に五十二衆といわれる人々が集まり嘆き悲しんでいます。
この一枚の涅槃図の中に込められた物語を
ちょっと垣間見てみましょう。



やさしい涅槃図絵解き

一人二役をこなす 天眼第一のアヌルダ

涅槃図の中、下の方をみると
お釈迦様ご入滅に驚き失神してしまった美男子アナンがいますが
アナンに鉄鉢の水をかけて介抱している人がアヌルダです。

アヌルダは、若き頃にお釈迦様の説法中居眠りをしてしまい
そのことを恥じ、一生不眠の誓いをたて視力を失います。
その後熱心に修行を積み、ついには天眼第一といわれるほど
心眼を開いたお方です。

そんなアヌルダは、アナンに水をかけて介抱した後
いそいで天上界におられるお釈迦様の生母マーヤ夫人を
お迎えに行きます。

確かに、涅槃図右上の方を見てみると
美しいマーヤ夫人がお付の方々に囲まれて降りてきています。
その一行の少し前を先導している人が、アヌルダです。
一人二役のアヌルダは、涅槃図の中でその2つの姿が描かれています。



涅槃図は2月15日のみ本堂に掛けます。
こんな物語を思い描きつつ、ご覧いただければと思います。

大智寺だより

平成28年如月
Vol.71

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去すべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

1月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

山門前の大木を伐採

山門の脇に立っていた大きな檜の木の根が
少しずつ石垣を崩し始めたので、先月業者の方に頼み伐採していただきました。
お寺に配達にくる宅急便屋さん「ちょっと寂しくなったねえ」と
名残惜しげに大きな切り株をご覧になっていました。



大きな木でしたが、幸い買い取ってくれる材木屋さんも見つかり
太い中心部分は九州のお客様が購入されたそうです。
また細かな部分は、大王製紙様が使ってくださるそうです。
四季折々いろんな姿を見せて楽しませてくれた檜の木ですが、
再び人様のお役に立つことができます。
目に見えない縁の結びつきに感謝します。

大般若会のお手伝い ありがとうございます

先月15日、お寺では無事大般若会を執り行うことが出来ました。
朝早くから里1～里5、西山、出屋敷のそれぞれから
庫裏のお手伝いに来てくださり、女性7人息のそろったチームワークで
お昼のうどん接待もスムーズに行うことができました。



また五種盛皿やうどん椀、猪口などの漆器の片づけも、
洗うところから木綿地での乾拭きまで段取り良く済みました。
始終和やかに庫裏手伝いをしてくださり、本当にありがとうございました。
来年もどうぞよろしくお願いします。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑳



「臨済宗ではないけど、お守りすることができなくなったお位牌がある・・・」

ご家族が亡くなると四十九日忌までにお位牌を用意し、お仏壇で安置することになりますが
お部屋の都合上、または諸事情によりお仏壇を用意できない場合があります。

また、すでにお仏壇をお持ちの場合でも、跡取り不在などの理由で
お仏壇の撤去を迫られる場合もあります。

そんな時、お位牌はどうしたらいいのでしょうか。

例えば、檀家様の家の奥様のご実家は、臨済宗ではないことがあります。
奥様の兄弟が女性ばかりで皆どこかに嫁いでいる場合、
ご実家のお位牌を誰かが嫁ぎ先に持ち込むこともできず困ってしまいます。

大智寺では、臨済宗の方のお位牌でなくても
ご事情をお伺いした上で縁者の方のお位牌も安置させていただいております。
ただ、日々のご供養に関しましてはその方の宗派に合わせることはできませんので、
臨済宗妙心寺派のやり方でご供養させていただくこととなります。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課経典
31ページより

21

「^{むなしく}過るぞ ^{おろか}愚かなり ^{ろうにやくきせん}老若貴賤も ^{もろとも}諸共に」

享年 36 歳で亡くなっている俳人正岡子規は

不治の病である肺結核を患い、死までの時間の過ごし方を真剣に模索した一人でした。

子規は半歩の歩行さえもままならない中、最後の言葉を綴ります。

題名は「病牀六尺」、つまり2メートルに満たない寝床（寝たきりの生活）で書かれた随筆です。

その中にこんな一文があります。

「余は今まで禅宗のいわゆる悟りという事を誤解していた。

悟りという事は、いかなる場合にも平気で死ぬることかと思っていたのは間違いで

悟りという事は、いかなる場合にも平気で生きている事であった」

身体中が悲鳴をあげる中、子規はモルヒネを飲みながら

命ある今をいかに生きるのか、真正面から向き合って残された時間を過ごしていきます。

「ついにゆく 道とはかねて聞きしかど 昨日今日とは 思わざりしを」在原業平（古今和歌集）

いつ、どのように自分の死が訪れるかわからない中、

ティッシュペーパーのようにごく薄い「今」という瞬間を、地道に丁寧に重ねていく

そんな生き方が禅では説かれています。

今月のテーマ

先月ようやく冬らしい冬が来たかと思えば、あっという間に立春を迎えます。ここ数か月の激しい温度変化の中、悪い風邪が心配されますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、白アリ被害に遭った大玄関の床と上がり框の修繕を行うため、お寺ではケヤキの木材を先月準備しました。固くて摩耗に強いケヤキは昔から日本家屋に使われてきましたが、伐採してからすぐ材木として使えるわけではなく、乾かす間に左右に大きくそり返るため何十年と寝かせるそうです。中途半端に寝かせたものをへたに大黒柱などに使うと、家が動くほどそり返るのだとか。

そり返るといえば、我が家にもおちおち抱いていられないほど一生命そり返っている赤子がいますが、やはりケヤキと同じく反り返りを繰り返す、あるべき姿勢を模索しているのでしょうか（笑）

お釈迦様の弟子維摩（ゆいま）居士の言葉「直心是道場（じきしんこれどうじょう）」とありますが、私達もまたまっすぐ素直な心にとどり着くために毎日心はそり返ってシタバタしているのかもしれない。そり返りを繰り返す乾燥を終えたケヤキは、磨き上げると美しい光沢が出ます。赤子はそり返りが緩むと笑顔になります。いつの日にか、このヒヨッコの心もそり返りを終えるといいなう願う今日この日です。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

寒い日には ほっこり嬉しい豆乳鍋

- ① 白菜1/4くらい、人参半分、油揚げを湯通ししておく。
- ② 出し汁360mlに薄口しょうゆ、白味噌それぞれ大さじ1を入れ、お好みの豆乳180ml入れ温める。
- ③ 温まった鍋の中に湯通ししておいた白菜、人参、油揚げと焼き豆腐、三つ葉を入れて温める。
- ④ 決して沸騰させずに温めたら、出来上がり。



油揚げは気持ち大きめに切ると、おいしい！気を付けるところは、豆乳を入れた後に沸騰させないことだけ。沸騰させると、湯葉ができてダマダマになるので、要注意。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

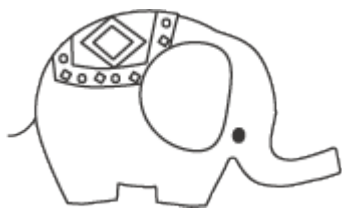
初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

2月28日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

1月写経会 備忘録

新年明けて初めての写経会、雪が降ってしまい交通が心配な中、皆様おでかけいただきありがとうございました。お寺好きな新メンバーさんも加わり、嬉しい写経会となりました。今回は「依般若波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩提」の部分のお話をさせていただきました。お土産に新年ご祈祷まめ玉をご用意致しました。



大智寺の本尊様に見守られつつ、
故人の新たな一步を本堂からお見送りする
そんな一般葬を希望される方々へ



本堂を会場に営む 一般葬
あれこれ

3 通夜までの準備 ①祭壇について

枕経が終わると、お通夜までにいろいろな準備をします。
お寺を会場に枕経させていただいた場合、亡き方のおそばで守りをする方を残して準備のために一度自宅へ帰られることが多いです。
訃報を誰に伝えるのか決め、おおまかな会葬者の人数を葬儀社に伝えます。

会葬者の人数によって、葬儀の規模も決まり、会場設営が始まります。

お寺を会場にする場合、ご本尊様がおられますので
正面は花をあしらって写真を飾る「花祭壇」がよいと思います。
会葬者から届くお供えの花かごや果物かごも本堂正面に並べるので
正面中央 1~1.5 畳分の花祭壇が程良い具合です。

また、祭壇そのものは本尊様の前に常設されているので、
「花祭壇」「白木祭壇」とも葬儀社には依頼せずに
それをご利用いただくこともできます。
ぜひ選択肢に入れてみてください。



ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。
必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円~
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。
詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。